

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表：令和 5 年 3 月 15 日

事業所名 ザ・イエローハウス 保護者等数(児童数) 57名 回収数 43 割合 75 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	40	3			<ul style="list-style-type: none"> ・身体を十分動かせるスペースだと思います。 ・小学生以下の子を対象としているのであれば十分なスペースだと思う。 ・走り回る広さがあります。 	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	42			2	<ul style="list-style-type: none"> ・適切だと感じています。 ・専門性についてわかりません。 ・一人に対して一人の先生がついてくれています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所は、基準を超える人員の配置と、専門職を配置することで、児童指導員等加配加算と専門的支援加算を算定しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	40	3			<ul style="list-style-type: none"> ・配慮されていると感じます。 ・バリアフリーではありませんが、段差はとても小さいので、少し補助すれば入れると思われます。子どもは過ごしやすいそうです。 	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	43				<ul style="list-style-type: none"> ・十分だと感じます。 ・とてもきれいです。 	
適切 な	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	41	2			<ul style="list-style-type: none"> ・日頃よりよく話し合い、こちらの意図を組んだもの、またとてもよく分析された支援計画、提供になっていると感じます。 ・しっかりと話を聞いていただいた後で子どもに合った計画を考えていただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の職員で多角的に子どもをアセスメントし、支援計画やプログラムを作成しています。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	38	2		3	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援ガイドラインが初耳です。事業所は具体的に実施してくれていますが、支援センターから説明が必要だと思います。 ・必要な項目が選択されていると感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援ガイドラインに沿って作成してはいたしましたが、保護者様にわかる形での提示ではなかったのので、今後個別支援計画の書式を変更することにしました。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	42			1		<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供記録に短期目標と中長期目標を記載しておくことで、職員が支援計画に沿った支援を意識できるようにし、保護者様とも共有しやすいようにしています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
支 援 の 提 供	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	33	6		3	<ul style="list-style-type: none"> ・最初のころに比べると、最近は固定化されている気がします。達成目標に向けてなのだと思うが、今日は何をするのかな？というワクワクが少ない気がします。 ・子どもたちが混乱しないように固定化しているところもあるのだと思っている。 ・毎回少し違ったことを活動していたいています。 ・様々な楽しい活動が提供されて素晴らしいと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士で活動プログラムを話し合い、活動が固定化されない工夫をしているところ。一方で、同じ活動を繰り返したり、同じルーティンでプログラムを行ったりすることで、安心して活動に取り組めるお子さんもいらっしゃいます。そのため、活動プログラムは、子どもたちの様子に合わせて決定しています。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	17	1	9	16	<ul style="list-style-type: none"> ・園との交流はとってもらっていますが、障害のない子どもと活動？の意味がよくわかりません。 ・特に必要とは思っていません。 ・幼稚園に通っているので機会はあります。 ・最近入所したばかりなので、わからないところがあります。 ・すでに保育園に通っているためわかりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所の活動上、そのような機会はありますが、お子さんが在籍している園がそのような機会となっていることがあります。在籍園がないお子さんに関しては、ご希望によって様々な交流機会の場を情報提供しています。
保 護 者 へ の 説 明 等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	43				<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に説明がありました。 	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	40	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容の説明は十分なされています。 	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	30	7	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃より十分されていると感じます。 ・ペアレントトレーニングがよくわかりませんでした。 ・下の子がいるので毎回ずっとは見られませんが、毎回様子を教えてもらっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回支援後に担当者としっくりお話をする時間を設けていると共に、個別にご相談いただいた際は、できる限り早急に対応しております。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	40	3			<ul style="list-style-type: none"> ・日頃より十分されていると感じます。 ・どんなことをやったか等、口頭や書類で教えていただいています。 ・コミュニケーションがとりやすく、感謝している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所では、お子さんの状況や課題、成長を共有するため、保護者様に同席していただく中で支援を行っています。支援内容やお子さんの発達について、ご質問がありましたら、いつでもご相談ください。

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	37	5			<ul style="list-style-type: none"> ・こちらから聞けば面談、相談の機会をすぐに作ってくれるが、定期的になると少し足りないような気がします。 ・毎週アドバイスや愚痴等を聞いてくださりありがとうございます。 ・毎回、親と先生との対話の時間があり、更に必要に応じてじっくり話を聞いていただく機会を作ってもらうこともできます。 ・とても丁寧に対応いただいています。 ・まだ通所し始めたばかりでよくわからない。 ・よく相談や話を聞いてもらっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングの際はこちらから面談のお声掛けをさせていただいていますが、面談をご希望の際はお気軽にお声掛けください。 ・お気軽に個別面談を申し込んでいただけるように、『きいろいおうち便り』などで周知していきます。
⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	4	12	23	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の話す場を少しの時間でもあると、親がくるのももっと楽しみになるかもしれません。 ・コロナ対策で難しいのだろうと理解している。 ・保護者同士のかかわりをしてよいかかわからない雰囲気です。 ・仕事が忙しくて、どんな情報があるか実際わからないです。 ・普段の活動中は保護者同士で交流する暇がないので、そういった機会があれば参加したいです。 ・質問の意図がよくわかりません。 ・まだコロナの状況があるので、そのような機会は難しいと思います。 ・親同士の交流の場があると、情報交換などができてありがたいです。 ・父母会、保護者会があることを知りませんでした。 ・今のところは特に必要としていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開所1年目であることや、コロナ禍であることから、そのような機会を設けていませんでした。今後は、保護者同士で話ができる機会を積極的に設けていきます。
⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	36	4		3	<ul style="list-style-type: none"> ・何かあると相談に乗っていただき、ありがたいです。 ・子供や保護者に周知、説明されるような相談をしたことがないため、適切に対応されているか判断できませんでした。 ・申し入れをしてから早い時期にご対応いただきました。流れもとてもスムーズで助かりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・⑭の通りです。
⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	40	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・十分されていると思います。 	
⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	32	2		8	<ul style="list-style-type: none"> ・きちんとされていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『きいろいおうち便り』にて発信をしています。自己評価については、今回が初めての評価となります。
⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	37			5	<ul style="list-style-type: none"> ・注意されていることと思いますが、わかりません。 	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
非常時等の 対応	⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	35	3		5	<ul style="list-style-type: none"> ・実施訓練はまだ未体験。 ・マニュアル等の周知、説明はされているが、まだ訓練を受けたことはないです。 ・通所してからの訓練は経験していないためわからないが、策定されていることや実施済みというお話は説明していただきました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時にマニュアルの説明はしていましたが、この度ファイリングをして下駄箱の上に設置し、保護者様にいつでもご覧いただけるようにしました。
	⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	8		13	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練があることは知っています。 ・訓練はないが、提示はあります。 ・避難訓練の存在は知っているが、まだ参加したことがないため。 ・まだ行われていませんが、訓練があると聞いています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の避難訓練は、6月と当アンケート実施後の2月に実施しました。
満足度	⑫	子どもは通所を楽しみにしているか	42			1	<ul style="list-style-type: none"> ・行くまでは嫌がっているが、先生やお友達と楽しく遊んでいる。 ・とても楽しみにしています。 ・毎週楽しみにしています。 ・毎週楽しみで、曜日を覚えるきっかけになった。 ・ありがたいです。 ・週の中で一番楽しみな時間になっています。 ・親子で毎週とても楽しみにしています。 ・会話ができないのでわかりませんが、いつも楽しんで活動しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所では、お子さんの“楽しい”という気持ちを大切にしています。今後も、お子さんが自分のままで安心して楽しめる環境を提供できるよう、職員一同努力してまいります。
	⑬	事業所の支援に満足しているか	41	2			<ul style="list-style-type: none"> ・担当の先生だけでなく、全員の職員の方と毎回お話しでき、見守っていただき、すごく温かい場所だと感じています。子どもの笑顔、やる気をたくさん見られた1年になり、感謝しています。ありがとうございます。 ・十分に満足しています。 ・子どもの様子を見て、先生方が次回までに色々考えたり工夫してくださって丁寧に関わっていただいていると思います。親の様子や気持ちにも寄り添ってくださり、感謝しています。 ・とても満足しています。 ・いつも優しく、とても助かっています。 ・イエローハウスのサポートに心から感謝しています。 ・とても満足しています。感謝の気持ちでいっぱいです！！ ・本当に感謝でいっぱいですが、働く親にとって厳しいこともあります。 	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 3 月 15 日

事業所名 ザ・イエローハウス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			
	②	職員の配置数は適切である	7			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		・ 掲示物を少なくすることや、危険箇所をカバーすることなど、子どもたちの特性に応じた環境設定をしている	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		・ 毎朝掃除を行っており、グループ終了後に玩具の消毒をしている	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている				・ 開所 1 年目であるため、当評価を基に今後実施する。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している				・ 同上
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5		・ 現在第三者評価は行っていないが、定期的にコンサルタントに運営について助言をもらい、業務改善に繋げている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		・ 職員同士が講師となり研修を行うと共に、外部講師も招いて機会を確保している	・ 令和 4 年度は、研修休暇の取得率が低かったため、職員に再周知し、取得を促していく。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		・ 見学時に、設定された項目に合わせて子どもと遊び、記録を行うことで、客観性がある程度担保された行動観察を行っている ・ 必ず複数人で計画を作成している	
適切な支	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		・ 年齢に応じた共有アセスメントツールがある	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
援 の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		・職員で活動プログラムを話し合う際に、お子さんの目標を伝え合うことで、支援計画に沿った支援を実施できるようにしている	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		・チームで、子どもの状況に合わせてプログラムを立てている ・毎回、打ち合わせと振り返りの時間を取り、子どもの状況に合わせた活動プログラムを都度考案している ・活動前後の確認と立案がルーティンになっている	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		・固定化されない工夫もしているが、繰り返すことでの効果もあるため、子どもたちの様子に合わせている	・同じ活動を繰り返すことが有効なお子さんもいるため、その場合は、活動を繰り返す目的を保護者様に丁寧に説明していく。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7		・チームで子どもの状況に合わせている ・毎回の活動で個別と集団がある	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		・必ず話し合っ、当日の確認をする時間を設けている	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		・活動後に必ず振り返りの時間を設けている	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		・毎回ケース記録をとっている	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7			
関 係 機 関 や 保 護	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している			・サービス担当者会議がなかった。開かれる場合は最もふさわしい者が参加することになっている	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7		・積極的に連携を取っている ・保護者の希望がある場合は、在籍園と連携している	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			・該当なし	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
者との連携関係機関や保護者との連携	②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/	・該当なし	/
	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	/	/	・該当なし	/
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	/	/	・開所1年目であるため、移行支援の実施がなかった	・ 今後は、移行先と情報共有するなどの支援を行っていく。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		・地域の児童発達支援センターを見学する機会があった ・地域の児童発達支援センターや他事業所の職員の見学を受け入れ、情報共有を行った ・地域の児童発達支援センターで開催される研修に複数の職員が参加した	
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		7	・週1回1時間の通所事業所であるため、実施していない	・事業所の特性上、そのような機会を設けていないが、各自の所属園がそのような機会となっている。
保護者	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	1		・職員の参加は難しいが、管理者が参加している。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		・サービス提供記録に活動内容の他に目的や手立ても書くことで、子どもの様子を共有できるようにしている ・毎回のフィードバックは丁寧にするよう心掛けている	
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7		・ペアレントトレーニングの視点から、お子さんの様子をフィードバック時に伝える ・個別の対応がしっかりできていると思う。全体に向けた発信ができるとさらに良いと思う	・現在、固定メンバーのグループにすることで保護者同士がつながれるように工夫しているところだが、今後はさらにコミュニケーションが取れるように、職員がファシリテーターとなってグループ面談を行っていく。
保護者	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		・保護者からの相談を受けている。当日が難しくても改めて日程を決めている ・フィードバック時に保護者からの相談に応じることもあり、必要であれば別室で相談を受けることもある	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
への説明責任等	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6	・今後行っていきたい ・設立1年目なので活動を広げていない	・㊸に同じ
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		・その場で相談を受けるか、日程決めをしている	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		・『きいろいおうち便り』を発行している	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	7			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6	・行事を開催していない ・現在は実施していない	・事業所の特性や、利用者の個人情報等の問題があり、そのような機会は設けていない。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		・消防署と警察署に依頼し、あらゆる事態を想定した訓練を行った	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		・発生を想定したシュミレーションを行っている	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7			
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		・食事の提供はしていない（アレルギー対応はしている） ・対応が必要な児童がいない。指示があった場合は対応する	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	4	・今後行っていく	・身体拘束に関する組織的な決定はあったが、支援計画への記載がなかったため、今後書式を変更する

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。